

宮崎大学インフラ長寿命化 (行動計画・個別施設計画)

《概要版》



2019年3月策定
2021年3月改定

宮崎大学施設環境部

1、インフラ長寿命化計画の背景・目的

戦略的かつ機能的な大学運営を行うためには、高度・多様化する教育研究医療活動や新たな教育研究医療活動に展開できる質の高い教育研究医療環境を整備することが求められる。施設整備費を巡る財政状況が厳しい中、施設整備を「財政的に持続可能な範囲」で実現するためには、従来と同じ手法による整備を見直し、経費抑制と平準化に取り組む必要がある。

インフラ長寿命化計画は、インフラの維持管理等に係るトータルコストの縮減を図り、必要な予算の確保を進めていくため、中長期的な将来の見通しを把握し、これをひとつの目安として戦略を立案し、必要な取り組みを進めていくことに資することを目的としている。

2、計画期間・対象施設

○計画期間：40年（2018年～2057年）

○対象施設：全ての施設（ただし、借用建物は除く）

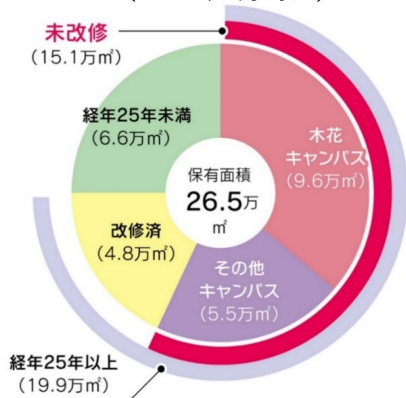
3、本学の現状と課題

○耐震対策はほぼ完了したものの、昭和59年から昭和63年にかけて整備された**膨大な施設の更新時期が到来**しており、安全面・機能面・経営面で大きな課題が生じ、対応が急務

○経年25年以上の改修を要する施設の面積は全体の約75%であり、今後5年で経年25年以上の改修を要する施設の面積が現在より倍増

○基幹設備（ライフライン）の老朽化も進行し、耐用年数を越えたものの割合が高く、特に教育研究に影響を及ぼすガス配管や排水管の老朽化が50%超

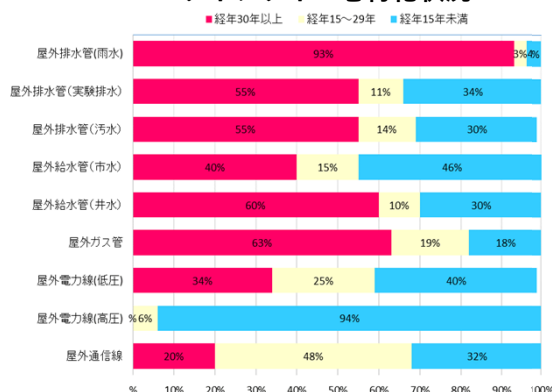
建物老朽化状況
(2018年5月時点)



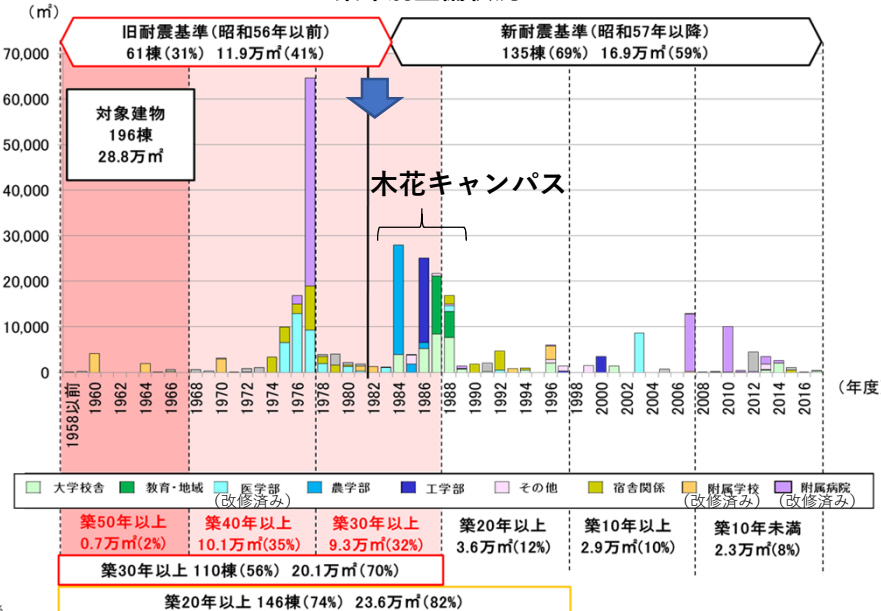
○4つの主要キャンパス（木花、清武、花殿、船塚）のうち、木花キャンパスは昭和59年から63年に移転整備が行われ、経年30年以上の建物が集中

○清武・花殿・船塚キャンパスは、改修が順次完了

ライフライン老朽化状況



築年別整備状況



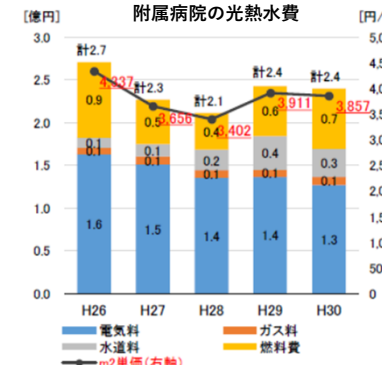
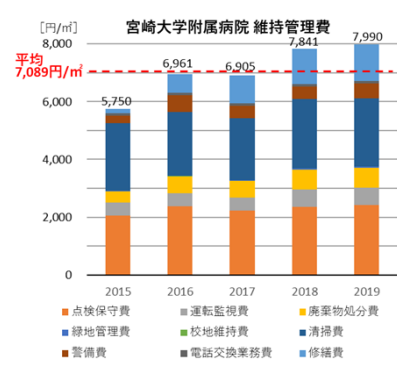
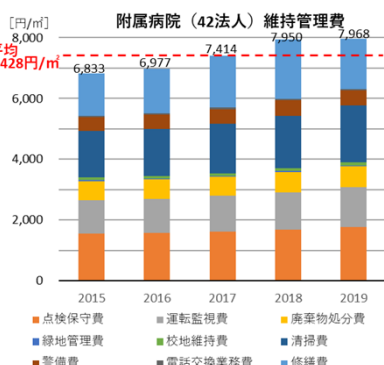
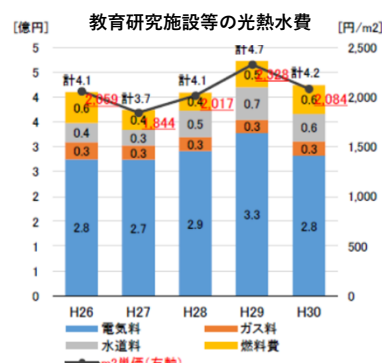
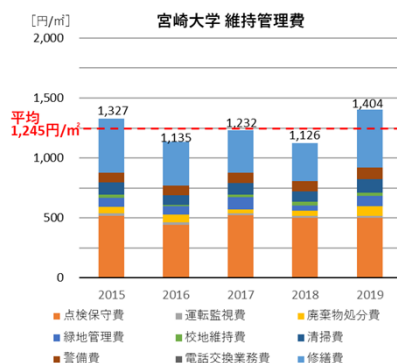
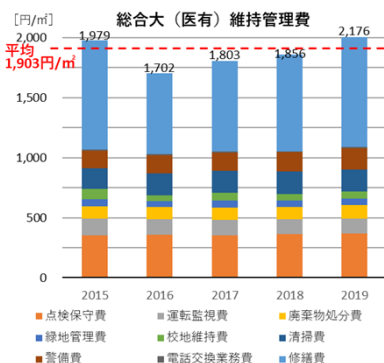
4、保有面積と維持管理費等の現状

保有面積と維持管理費等推移

○建物の老朽化が進む一方で必要な維持管理費の確保が課題となっている。

○機能が著しく低下し問題が起きてからの対応となっており、結果、**事後保全**となっている

○光熱水費は一時期、増加傾向にあったが、省エネ改修等の推進により増加傾向が抑えられてきた



5、長寿命型ライフサイクルへの転換

○膨大な施設の効果的かつ効率的な施設整備・維持管理のため、**従来のライフサイクルから長寿命化型ライフサイクルへの転換を図る**ことにより、既存施設を最大限活用する

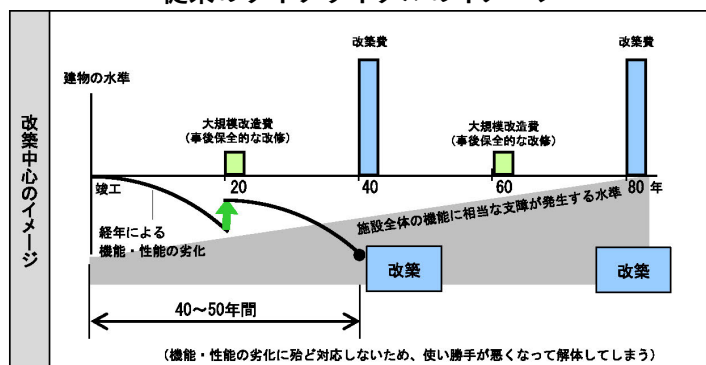
➡・従来の改築を中心に計画する**事後保全型の改修から長寿命化を図る予防保全型の改修へ転換**
・予防保全により施設の長寿命化を推進した上で、財政負担の縮減・平準化に取り組む

○長寿命化型ライフサイクルの考え方

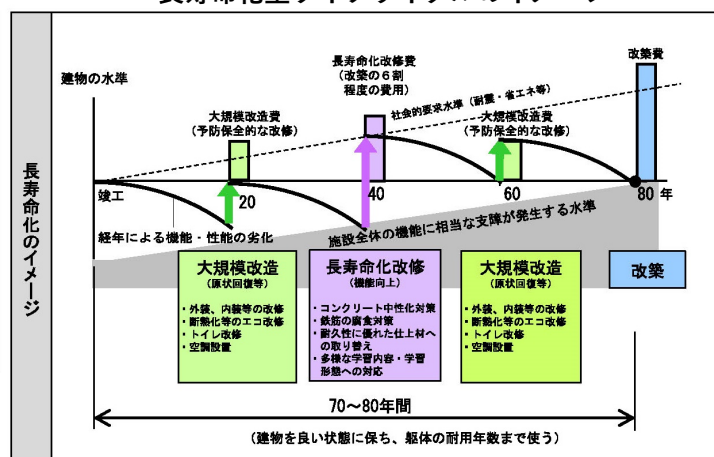
・長寿命化を図る施設の耐用年数は**80年を目標**とする

・経年20年・60年に大規模改造（機能回復）、経年40年に長寿命型改修（機能向上）を実施

従来のライフサイクルのイメージ



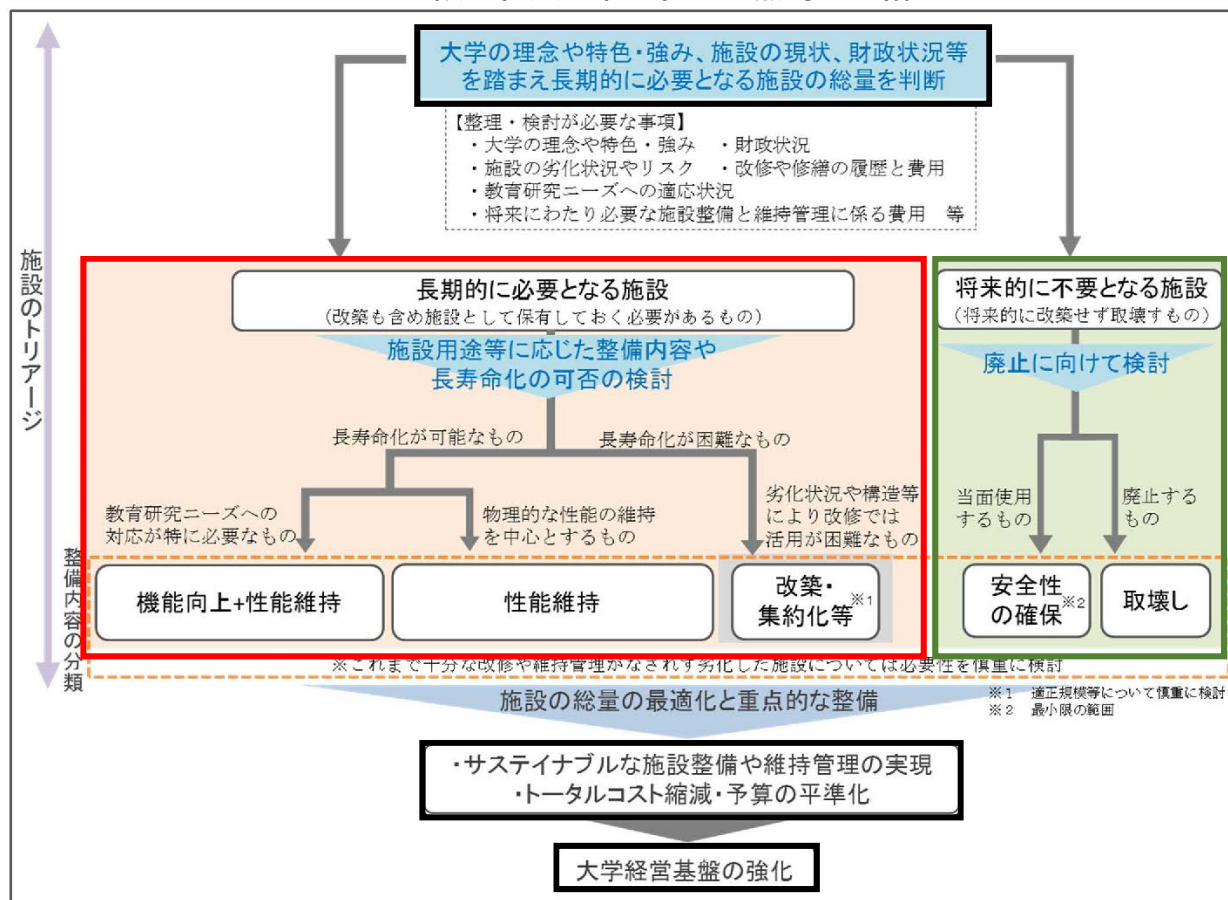
長寿命化型ライフサイクルのイメージ



6、施設の総量の最適化と重点的な整備

- 施設に係る支出（新增築、改修費、維持管理費及び光熱水費）は大学の支出全体の約16%を占めており、財務経営に与える影響は少なくない
- すべての施設を整備し運営するだけの財政基盤を確保するのは難しく、「施設等の優先度」を検討する
- 長期的に必要となる施設を判断し、将来の財政状況等を見据え「重点的な整備」を行い、施設の役割を将来に渡り持続的に発揮させることで、教育機能強化を図る

施設の総量の最適化と重点的な整備



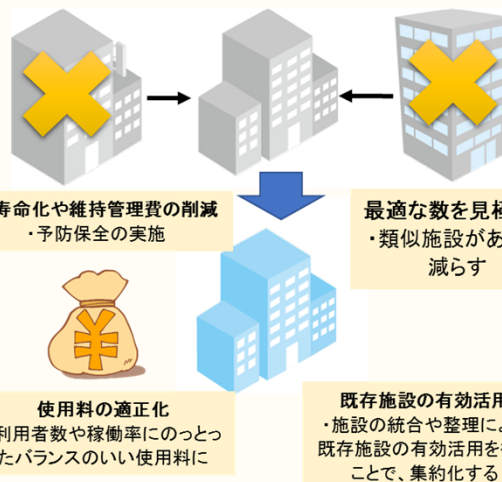
改築・集約化のイメージ図

- 改修は教育研究ニーズを踏まえながら対応していくことが重要



- 老朽化した膨大な施設を維持していくためには、施設整備の必要性や効果等について十分検討しメリハリを付け効果的・効率的に改修を行う

- 長期的に必要となる施設の総量を判断し、将来の財政状況等を見据えた「建築物総量の管理」が重要



7、長寿命化計画対象施設の考え方

長寿命化を行う対象施設

- ・ 教育研究施設（全152棟中、対象施設 87 棟）
- ・ 附属病院・附属動物病院（全20棟中、対象施設 16棟）
- ・ 寄宿舍・職員宿舎（対象施設 19棟）
- ・ 基幹設備（ライフライン）
- ・ 200㎡以下の小規模建物：事後保全のみ実施、大規模建物へ機能集約・取り壊し検討
- ・ 対象外：借用建物

改修を行う優先順位の考え方

○施設を良好な状態を保つためには予防保全を行うことが重要

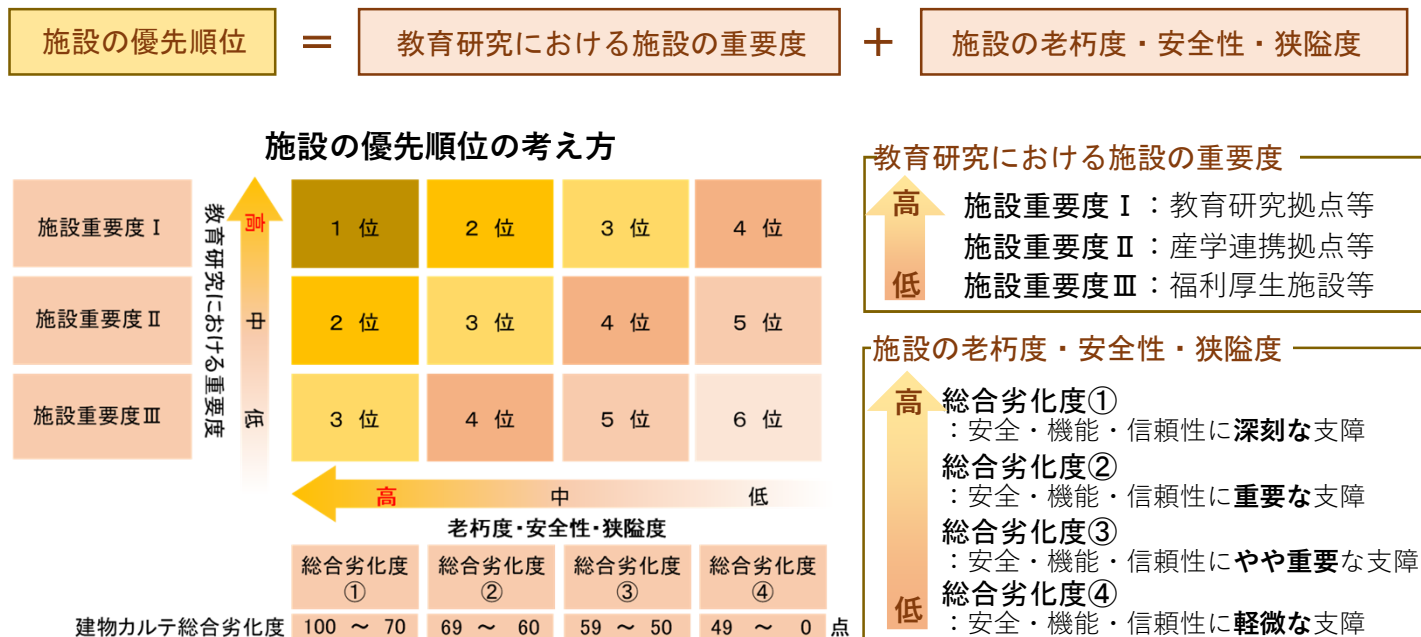
○全て一律に予防保全を行うと改修に要するコストが増大する



施設の優先順位を付けて長寿命化を行う対象施設を分類

1) 教育研究施設

- ・ 教育研究における施設の重要度および施設の老朽度・安全性・狭隘度より優先順位を設定



2) 附属病院・附属動物病院および寄宿舍・職員宿舎

- ・ 附属病院・附属動物病院：施設の老朽度・安全性・狭隘度より優先順位を設定
- ・ 寄宿舍・職員宿舎：2019年2月策定「宮崎大学職員宿舎再編計画」において9棟の解体を計画
使用を継続する宿舎は、施設の老朽度・安全性・狭隘度より優先順位を設定

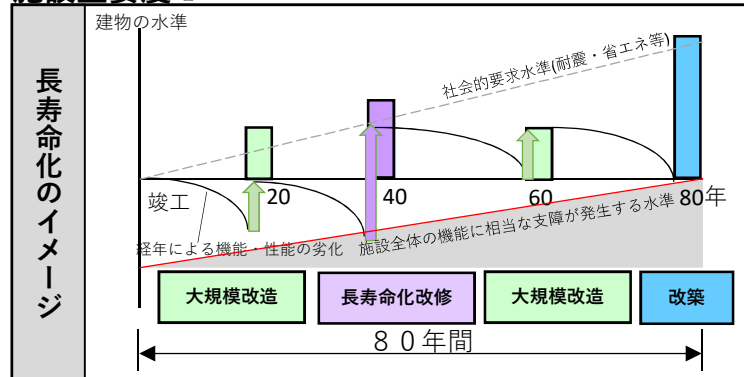
施設の重要度による改修内容の設定

○施設改修には膨大な費用が必要であり、全施設において同程度の長寿命化を図るのは現実的ではない

○施設の重要度により差を付けて改修内容を変更し、改修費用の選択と集中を進める

1) 教育研究施設

施設重要度Ⅰ



(改修の程度)

長寿命化改修

- ・外壁、屋上防水、内装等の全面改修
- ・多様な学習内容・学習形態への対応
- ・先端医療・地域医療を支える病院機能の充実

機能維持改修

- ・屋上防水・外壁の全面改修
- ・照明・電力・通信・換気設備の更新
- ・空調の更新
- ・外部建具・内装の機能回復 (全体の20%程度を想定)
- ・給排水・衛生・ガス設備の機能回復 (全体の20%程度を想定)

大規模改造

- ・屋上防水・外壁の全面改修
- ・電力・通信機器の更新
- ・空調・換気設備の更新
- ・ライフライン改修 (省エネ改修)

中規模改造

- ・屋上防水の全面改修
- ・外壁の機能回復 (全体の20%程度を想定)
- ・宿舍の設備更新・機能回復

改築

- ・計画期間経過後に新改築を検討

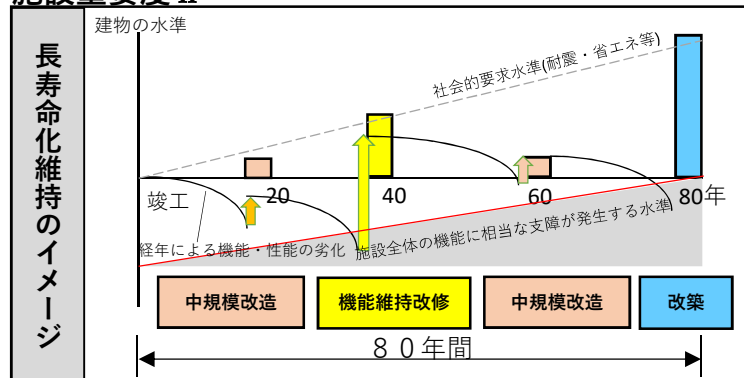
取り壊し

- ・計画期間 (80年) 経過後に大規模建物へ機能を集約した上で、建物の取り壊しを検討

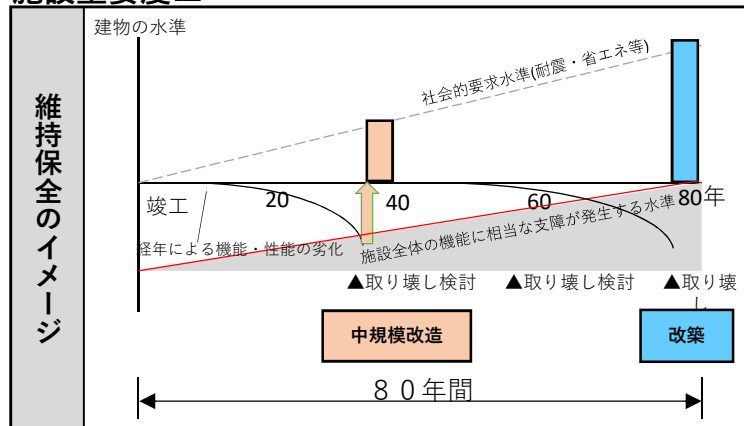
大

小

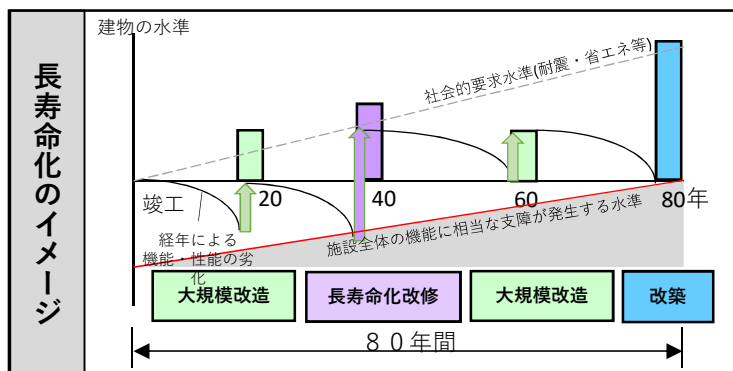
施設重要度Ⅱ



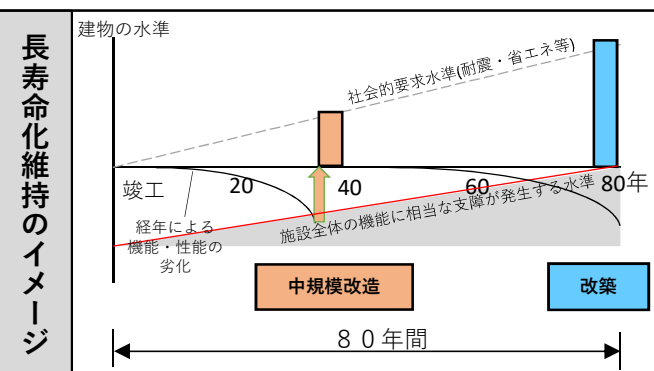
施設重要度Ⅲ



2) 附属病院・附属動物病院



3) 寄宿舍・職員宿舍



8、長期的な長寿命化改修実施計画の策定

改修に要するコスト

○目標耐用年数（80年間）における保有施設の改修に要するコストを算出し、年度毎に必要な改修費用を試算

○試算の結果、**教育研究施設：補助金 9.2億円/年 自己資金 2.6億円/年 計 11.8億円/年**が必要

附属病院：補助金 1.0億円/年 自己資金9.9億円/年 計 10.9億円/年が必要

寄宿舍・職員宿舎：自己資金 0.7億円/年が必要

○財源区分（対象予算）

■：補助金

□：自己資金 ※病院は1割を補助金

経年	20年	40年	60年	80年
施設重要度Ⅰ	大規模改造	長寿命化改修	大規模改造	改築
施設重要度Ⅱ	中規模改造	機能維持改修	中規模改造	改築
施設重要度Ⅲ	－	中規模改造	－	改築
ライフライン	基幹整備			
	省エネ改修			
病院・動物病院	大規模改造	長寿命化改修	大規模改造	改築
寄宿舍・職員宿舎	－	機能維持改修	－	改築
小規模建物	事後保全			取り壊し
維持管理	保有施設の維持管理			

長寿命化改修実施計画の策定

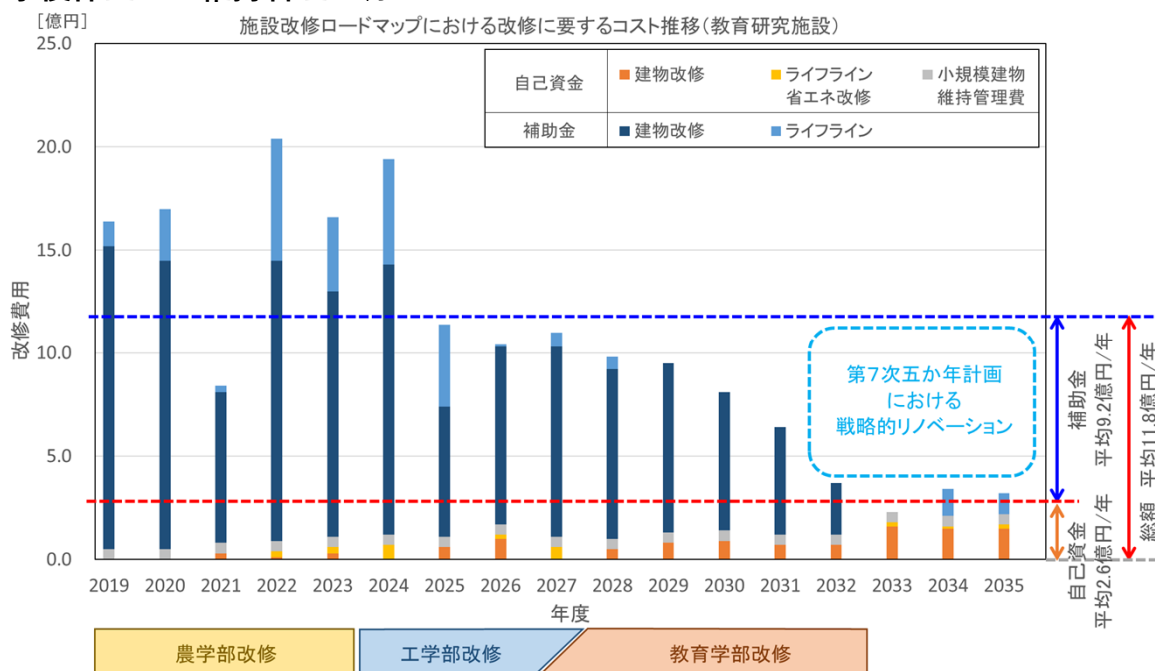
○長寿命化計画対象施設について、改修実施の優先順位を付けリスト化

○年度ごとに必要な費用を平準化し、長寿命化実施計画として「**施設改修ロードマップ**」を作成

○附属病院は、再整備30～40年後となる2035年度以降に再々整備を検討

○職員宿舎を再編し職員宿舎9棟を解体予定（保有面積82%（13,319㎡）縮減）**《施設トリアージ》**

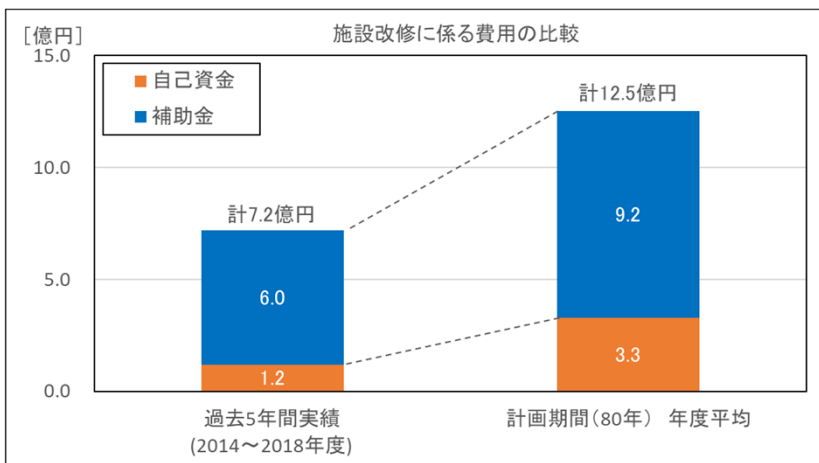
○寄宿舍・職員宿舎は、多様な財源での整備計画を検討。計画を導入するまでは、入退居時の修繕および事後保全にて維持管理を行っていく



9、財源確保策について

改修に要するコストとこれまでの改修実績との比較（教育研究施設・宿舎）

過去の改修に係る実績
・補助金 6.0億円/年 ・自己資金 1.2億円/年 計 7.2億円/年 (2014～2018年度実績)
↑ ↓ 自己資金 + 2.1億/年 の更なる財源確保が必要
目標耐用年数(80年間)における試算値
・補助金 9.2億円/年 ・自己資金 3.3億円/年 計 12.5億円/年



財源確保策の検討

○更なる財源を確保するため、施設マネジメントを推進し、収入の確保および維持管理費の削減を図る

スペースチャージ制の導入

- ・木花キャンパスの戦略的リノベーション計画により**共同利用スペース**を創出
- ・共同利用スペースには令和2年4月より**スパーチャージ制**を運用開始
- ・チャージ料の一部を改修費用に充当

財産の有効活用

- ・**駐車場の入構整理料の収入**を駐車場および構内道路の整備・補修費用に充当
- ・**土地等の貸付**を推進し、収益の増加を図る
- ・**ネーミングライツ事業**の導入

エネルギーマネジメント

- ・エネルギーマネジメントを進め、**消費エネルギーを削減**
- ・サステナブル・キャンパスの形成に向けて、**ZEB化**を検討（「ZEB Ready」を目指す）

10、長寿命化計画の継続的運用方針

個別施設計画のフォローアップ

○インフラ長寿命化計画（個別施設計画）は、中期目標・中期計画に合わせ**6年を1期**とし、**1期ごとにフォローアップ**を行う

○フォローアップの評価結果については、会議等において学内への公表を積極的に行う

○個別施設計画の更新イメージ



施設改修 ロードマップ（教育研究施設）






























対象：87棟
※附属病院・動物病院・宿舍・借用建物および200㎡以下の小規模建物は除く
凡例：
[外]：外部改修 [全]：全面改修 [内]：内部改修
金額：補助金事業 金額：自己資金事業

更新：令和6年3月（R5年度末）

（単価の考え方）
長寿命化改修（実験系）23.0万/㎡
長寿命化改修（非実験系）21.4万/㎡
大規模改造 5.0万/㎡
機能維持改修 8.0万/㎡
中規模改修 1.0万/㎡
（金額根拠）

団地	学部等名	棟名称	施設重要度	改修面積	経年(建設年) (工事/省エネ工事予定時点) (Ⅰ)経年(工事年) (2023時点)	第5次5ヶ年計画							第6次5ヶ年計画					第7次5ヶ年計画				
						2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16	2035 R17
木花	農学部	実験研究棟(北)	I	8,367㎡	35(1984) [全]3(2020)	(Ⅰ) 6.0	(Ⅱ) 8.1	(Ⅲ)	(Ⅳ)													
		実験研究棟(南)	I	8,737㎡	37(1984) [全]1(2022)			10.5	8.5													
		講義棟	I	2,317㎡	36(1984) [全]2(2021)																	
		実験研究棟(獣医)	I	3,524㎡ (5,841㎡)	39(1984) [全]0(2023)																	
		動物病院	I	713㎡	38(1985) [全]0(2023)																	
		環境制御動物実験棟	Ⅲ	130㎡	45(1985)																	
		暖地草地生産利用実験棟	Ⅲ	298㎡	45(1985)																	
		農林水理実験棟	Ⅲ	231㎡	45(1985)																	
		木材食品加工実験実習車庫棟	Ⅲ	347㎡	45(1985)																	
		農業工学実験棟	Ⅲ	694㎡	45(1985)																	
		大型及び小型機械棟	Ⅲ	590㎡	44(1986)																	
		動物舎	Ⅲ	209㎡ (2,499㎡)	43(1985) [外]15(2008)																	
	農場管理棟	I	971㎡	45(1984)																		
	農業博物館	Ⅲ	766㎡	40(1986) [外]8(2015)																		
	工学部	工学部A棟	I	8,030㎡	38(1986)							(Ⅰ) 10.9	(Ⅱ) 9.3									
		工学部C棟	I	5,398㎡	40(1986)																	
		工学部B棟(講義棟)	I	2,548㎡	39(1986)									(Ⅲ) 12.5								
		電気機器実験棟・車庫	Ⅲ	308㎡	35(1986) [内]02(2021)																	
		高電圧実験棟	Ⅲ	205㎡	45(1986) [外]8(2015)																	
		土木工学実験実習棟	Ⅲ	937㎡	45(1986)																	
		機械工学実験実習棟	Ⅲ	413㎡	45(1986)																	
		機械実習工場	Ⅲ	648㎡	45(1986)																	
		乱流風洞実験棟	Ⅲ	240㎡ (2,751㎡)	34(1997)																	
	工学部E棟	I	3,514㎡	23(2000) [外]0(2023)																		
	教育学部・ 地域資源創成学部	実験研究棟	I	12,705㎡	41(1987)																	
		講義棟	I	6,221㎡	42(1988)																	
		美術棟	Ⅱ	1,469㎡	44(1988) [外]11(2012)																	
		技術・家庭棟	Ⅱ	2,551㎡	44(1988) [外]10(2013)																	
		音楽棟	Ⅱ	1,615㎡ (5,635㎡)	44(1988) [外]13(2010)																	
	センター	情報基盤センター	I	1,254㎡	47(1986)																	
		総合研究棟	I	1,421㎡	21(2001)																	
		フロンティア(遺伝資源分	Ⅱ	1,510㎡	23(1999)																	
		フロンティア(R1木花分室)	Ⅱ	367㎡	48(1987)																	
		産業動物教育研究センター	Ⅱ	1,125㎡	20(2013)																	
		教育協働開発センター	Ⅱ	534㎡	28(1994)																	
		産学・地域連携施設	Ⅱ	2,013㎡	25(1996)																	
		連携研究設備ステーション施設	Ⅱ	1,114㎡	34(1997)																	
		創造プロジェクト棟	Ⅱ	2,819㎡	33(1996)																	
	その他 (事務局・福利施設等)	附属図書館	I	4,977㎡	32(1987) [全]4(2019)																	
体育館		I	3,296㎡	38(1987)																		
福利施設棟		Ⅱ	3,458㎡	37(1984) [外]2(2021)																		
事務局棟		Ⅱ	3,228㎡	35(1986) [外]2(2021)																		
創立330記念交流会館		Ⅱ	1,670㎡	20(2014)																		
地域デザイン棟		Ⅱ	238㎡	00(2017)																		
課外活動施設		Ⅲ	1,301㎡	00(1988)																		
課外活動施設(音楽)		Ⅲ	279㎡	00(1989)																		
中央機械室棟		I	423㎡	42(1984)																		
ライフライン	(木花)基幹整備(給排水設			33～40																		
	(木花)基幹整備(給排水設			33～40																		
	(木花)基幹整備(実験排水処理施設)	I	92㎡	37(1988)																		
	(木花)ライフライン再生(屋外低圧配電線路等)			34～39																		
	(木花)基幹整備(高圧配電盤等)			30～40																		
	(木花)基幹整備(低圧配電盤等)			30～40																		
	(木花)基幹整備(井水設備)			40(1985)																		
	(木花)基幹整備(無停電電源)																					
省エネ改修 (LED化) (空調更新)	(LED化)																					
	情報基盤ビル・農業博物館・門衛所・国流単身者棟・事務R1木花分室・福利施設棟・動物舎・カマクラ室・実験温室・課外活動施設			30～38 34～39																		
	国流夫婦・家族棟・教育協働開発ビル・中央機械室・大型及び小型機械棟			30～40																		
	産学地域連携ビル(産学・機器分析)			29～30																		
	国際連携ビル その他小規模施設全て			30～																		
	707ビル(遺伝資源分野)・工学部E棟・総合研究棟			25～27																		
	LEDからLEDへの更新			20～																		
	外灯			15～																		
	屋外環境	屋外運動場			39(1986)																	
		車道 駐車場		72,579㎡ 49,511㎡																		
									</													

計 170 億円

施設改修 ロードマップ（教育研究施設）																							更新：令和6年3月（R5年度末）	
対象：87棟 ※附属病院・動物病院・宿舍・借用建物および200㎡以下の小規模建物は除く					凡例：  ：20・60年目 大・中規模改造  ：40年目 長寿命化・機能維持改修  ：基幹設備・照明改修 [外]：外部改修 [全]：全面改修 [内]：内部改修 金額：補助金事業 金額：自己資金事業															〔億円〕		〔単価の考え方〕 長寿命化改修(実験系) 23.0万/㎡ 長寿命化改修(非実験系) 21.4万/㎡ 大規模改造 5.0万/㎡ 機能維持改修 8.0万/㎡ 中規模改修 1.0万/㎡ （金額根拠）		
団地	学部等名	棟名称	施設重要度	改修面積	経年(建設年) [工事/省エネ予定時点] [×]経年(工事年) (2023時点)	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16	2035 R17		
清武	医学部	講義実習棟	I	6,582㎡	00(1975) [全]00(1996)																		大規模改造 5.0万/㎡	
		体育館	Ⅲ	1,148㎡	00(1976) [外]00(2020)																		中規模改修 1.0万/㎡	
		武道場	Ⅲ	1,320㎡	00(1981)																			中規模改修 1.0万/㎡
		図書館	I	1,908㎡	41(1978)																			R1交付額
		総合教育研究棟	I	8,581㎡	21(2003)																			長寿命化促進事業2.0万円/㎡
		基礎臨床研究棟	I	8,938㎡	57(1976) [全]10(2013)																			大規模改造 5.0万/㎡
			I	7,481㎡	37(1977) [全]9(2014)																			大規模改造 5.0万/㎡
		臨床研究棟	I	1,302㎡	47(1988)																		2.0	長寿命化改修(実験系) 15.0万/㎡
		フロンティア(生物資源分野)	Ⅱ	960㎡	50(1980) [全]21(2002)																			中規模改修 1.0万/㎡
		フロンティア(生物資源分野)	Ⅱ	1,092㎡	47(1983) [全]21(2002)																			中規模改修 1.0万/㎡
		フロンティア(RI清武分室)	Ⅱ	1,783㎡	53(1977) [全]21(2002)																			中規模改修 1.0万/㎡
		フロンティア(生物資源分野)	Ⅱ	570㎡	38(1992)																			中規模改修 1.0万/㎡
		外来管理棟	Ⅱ	1,297㎡	20(2010)																			長寿命化促進事業2.0万円/㎡
		福利施設	Ⅱ	2,038㎡	43(1976) [外]15(2008)													0.3						長寿命化改修(非実験系) 13.0万/㎡
		発電機室	I	49 ㎡	00(2013)																			I だが中規模改修 1.0万/㎡を適用
	ライフライン	(清武) 基幹整備(講義実習棟 講義室空調設備)			25(1996)					0.3														医学部講義棟講義室
		(清武) 基幹整備(給水設備)									0.2	0.5											0.7	(医病・清武) 給水設備
		(清武) ライフライン再生(屋外通信 線路等)			30～																			
		(清武) ライフライン再生(屋外低圧 配電線路等)			30～																			1.0
		(清武) 電話交換機更新			13～ (電波法改正による)						1.0													
		(清武) 基幹整備(高圧配電盤 等)改修(総研・707ライ)			30～31																		0.1	
		(清武) 基幹整備(電力貯蔵設 備)改修			15～																		0.2	年次計画にて提出済
		(清武) 基幹整備(昇降機設備)													0.7									不適格改修。業者概算見積 講義実習棟、フロンティア1,2総合教育研究棟1,2基礎臨床1～4…
	省エネ改修 (LED化)	(LED化) 臨床研究棟・講義実習棟			24～32								0.1											R5末状況より年次計画化
		総合教育研究棟 他			20～27									0.2		0.2								R5末状況より見通し額
		外灯			15～										0.1									
	構内舗装	車道		18,725㎡																				入構整理料にて順次補修 入構整理料にて順次補修
		駐車場		69,255㎡																				
					補助金	建物改修	1.7	0.1	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	計 10.7 億円
						ライフライン	0.0	0.0	0.3	1.2	0.5	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.7	1.0		
						補助金 計	1.7	0.1	0.3	1.2	0.5	0.3	0.3	0.0	0.7	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.2	0.7	3.0	
					自己資金	建物改修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
						ライフライン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.3	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0		
						省エネ改修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.3	0.2	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	
					自己資金 計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.3	0.2	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0		
					清武団地 計	1.7	0.1	0.3	1.2	0.5	0.4	0.5	0.3	0.9	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.3	0.7	3.0		

施設改修 ロードマップ（教育研究施設）																				更新：令和6年3月（R5年度末）						
対象：87棟 ※附属病院・動物病院・宿舍・借用建物および200㎡以下の小規模建物は除く					凡例： <div> <div></div>：20・60年目 大・中規模改修 <div></div>：40年目 長寿命化・機能維持改修 <div></div>：基幹設備・照明改修 </div> <div> <div>〔外〕</div>：外部改修 <div>〔全〕</div>：全面改修 <div>〔内〕</div>：内部改修 </div> 金額：補助金事業 金額：自己資金事業										（単価の考え方） 長寿命化改修(実験系) 23.0万/㎡ 長寿命化改修(非実験系) 21.4万/㎡ 大規模改修 5.0万/㎡ 機能維持改修 8.0万/㎡ 中規模改修 1.0万/㎡ （金額概算）											
園地	学部等名	棟名称	施設重要度	改修面積	経年(建設年) (工事/竣工予定時期) 〔全〕経年(工事年) (2023時点)	第5次5ヶ年計画					第6次5ヶ年計画					第7次5ヶ年計画					〔億円〕					
						2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033		2034	2035			
						R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17				
花殿・船塚	附属中学校	附属中学校教室1・2号	I	1,973㎡	63(1960) 〔全〕19(2004)					<div>〔空Ⅰ〕〔空Ⅱ〕〔空Ⅲ〕〔空Ⅳ〕〔空Ⅴ〕</div>	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1									空腸設備改修 R5計画額		
		附属中学校校舎	I	1,027㎡	53(1981) 〔全〕19(2004)																<div></div>	0.5		大規模改修 5.0万/㎡		
		附属中学校体育館	I	1,996㎡	30(1996)									<div></div>	0.1	0.1								I だが中規模改修 1.0万円/㎡		
	附属小学校	附属小学校教室1号	I	1,881㎡	59(1964) 〔全〕14(2009)											<div>〔空Ⅰ〕〔空Ⅱ〕〔空Ⅲ〕〔空Ⅳ〕〔空Ⅴ〕</div>	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1				空腸設備改修 R5計画額	
		附属小学校教室2号	I	2,873㎡	59(1970) 〔全〕14(2009)					<div></div>	0.2					<div>〔空Ⅰ〕〔空Ⅱ〕〔空Ⅲ〕〔空Ⅳ〕〔空Ⅴ〕</div>	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1			0.5	大規模改修 5.0万/㎡ 空腸設備改修 R5計画額	
		附属小学校校舎	I	1,274㎡	31(1982) 〔外〕2(2021)			<div></div>																	大規模改修 5.0万/㎡	
		附属小学校体育館	I	976㎡	33(1996)											<div></div>	0.1								I だが中規模改修 1.0万円/㎡	
	附属幼稚園	幼稚園舎	I	883㎡	00(1993) 〔外〕10(2013)																			長寿命化改修(非実験系) 13.0万/㎡		
	ライフライン	ライフライン再生(屋外低圧配電線路等)			30～																	<div></div>	0.5			
		ライフライン再生(屋外通信線路等)			30～																	<div></div>	0.1			
		基幹整備高圧配電盤等更新(附属中学校)			30～								<div></div>	0.1												
		太陽光発電設備			30(1999)													<div></div>	0.3						附小、附中(10kW-10kW)、幼稚園舎(8kW)	
	省エネ改修(LED化)	外灯			15～						<div></div>	0.1														
		附属小・中学校教室等LEDからLEDへの更新(体育館等)			20～													<div></div>	0.1				<div></div>	0.1		
	構内舗装	(花殿)車道 駐車場		3,187㎡ 3,019㎡																					入構整理料により順次補修	
		(船塚)車道 駐車場		2,965㎡ 700㎡																					入構整理料により順次補修	
							補助金	建物改修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
ライフライン								0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	
補助金 計								0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	
自己資金							建物改修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.0	0.5	0.5
	ライフライン 省エネ改修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1						
	自己資金 計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2	0.7	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.0	0.5	0.6						
花殿・船塚園地 計						0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.2	0.2	0.4	0.2	0.2	0.7	0.2	0.2	0.0	1.1	0.6	計 4.7 億円				

施設改修 ロードマップ（教育研究施設）																				更新：令和6年3月（R5年度末）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
対象：87棟 ※附属病院・動物病院・宿舍・借用建物および200㎡以下の小規模建物は除く					凡例： <div>20・60年目大・中規模改造</div> <div>40年目長寿命化・機能維持改修</div> <div>基幹設備・照明改修</div>															（単価の考え方） 長寿命化改修（実験系）23.0万/㎡ 長寿命化改修（非実験系）21.4万/㎡ 大規模改造 5.0万/㎡ 機能維持改修 8.0万/㎡ 中規模改修 1.0万/㎡ （金額概拠）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
団地	学部等名	棟名称	施設重要度	改修面積	経年（建設年） 【工事/省工予定時点】 【×】経年（工事年） 【2023時点】	第5次5ヶ年計画							第6次5ヶ年計画					第7次5ヶ年計画					【億円】																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
						2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16	2035 R17																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
住吉	産業動物拠点整備	乳牛舎2	Ⅲ	2,240 ㎡	3(2021)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						

小規模建物（対象：66棟）・維持管理費

団地	学部等名	棟名称	施設重要度	改修面積	経年(建設年) (省工予定時点)	第5次5ヶ年計画					第6次5ヶ年計画					第7次5ヶ年計画									
						2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15		2034 R16	2035 R17		
全団地	小規模建物 (200㎡以下) 改善費 (事後保全型改修)	木花		3,270 ㎡	(1985～2016)																				維持管理費に含む
		清武		493 ㎡	(2011～2017)																				維持管理費に含む
		花殿・船塚2		605 ㎡	(1958～2008)																				維持管理費に含む
		住吉・田野・赤水・大納		1,318 ㎡	(1959～2017)																				維持管理費に含む
	維持管理費	全団地		184,010 ㎡																					実績値
				自己資金	小規模建物 維持管理費	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	計 8.5 億円	

病院（対象：16棟）

清武（医病）

動物病院（対象：1棟）

施設改修 ロードマップ（学生寄宿舍・職員宿舍）

凡例： ：40年目 機能維持改修
 [外]：外部改修 [全]：全面改修 [内]：内部改修
 金額：補助金事業 金額：自己資金事業

(単価の考え方)

機能維持改修(寄宿舎) 5.0万/㎡
機能維持改修(職員宿舎) 5.0万/㎡
中規模改修 1.0万/㎡
建物解体 2.0万/㎡

学生寄宿舍・職員宿舍（対象：19棟）

[億円]

[illegible]

(金額根拠)

入退去時の修繕・維持管理
実績値

入退去時の修繕・維持管理
実績値

R5 解体見積額

R5 解体見積額

R5 解体見積額

R5 解体見積額

R5 解体見積額

R5 解体見積額

入退去時の修繕・維持管理
(維持管理費に含む)

中規模改修 1.0万/m²

R5 3・5棟下水切替え
R9 浄化槽設備撤去
R5 3,5棟直圧高架方式改修
R9 5棟高置水槽入替
R5 埋設ガス撤去 GBH方式改修

D棟 解体見積額準拠

E棟 解体見積額準拠

E棟 解体見積額準拠

実績値

計 9.9 億円